

BERCニュース

会員増、ニーズ多様化に対応

「BERC会員説明会」開く

2007年度のBERCの会員説明会が3月15日に東京・日本教育会館で開催された。写真。2007年度の活動概要は、以下の通り。BERC

小林陽太郎氏迎え

5月16日BEOC懇話会

BEOC(経営倫理最 高責任者会議)第5回昼 食懇話会が、5月16日(水、 国際文化会館(東京都港 区六本木)で開かれる。



山武 社長 小野木 聖二さん

おのき・せいじ 北海道帯広市生まれ。北大工学部応用物理学科卒。70年4月山武ハネウエル(現山武)入社。アドバンス・テクノロジー・センター所長、工業事業部システム・マーケティング部長。00年6月山武産業システム社長。03年4月アドバンスオートメーションカンパニー社長。04年6月社長。60歳。

「会社の名前ですが、山武ハネウエルと言っていたと記憶していますが。」

「そうです。戦後、すぐ

にハネウエル社と50対50の資本提携をし、初めての外資導入企業になりました。共同開発など良いパートナー

「関係でしたが、80年代末からハネウエル社が株を段階的に売却して契約関係が変わり、1998年に

「Automation・Zone・Builderの略語で「人の中

か？」

でも、ビルの空調は調整で

「インタビュアー・経済ジャーナリスト 阿部和義

た。お陰さまで、昨年12月に100周年を迎えることができました」

「皆さんの名刺にazhiiiというロゴがありますが、どういう意味なんですか？」

「皆さんの名刺にazhiiiというロゴがありますが、どういう意味なんですか？」

「Automation・Zone・Builderの略語で「人の中

「インタビュアー・経済ジャーナリスト 阿部和義

100周年、経営倫理浸透を

「山武にしました」

「山武という社名はどうしてつけたのですか？」

「山口武彦という創業者の名前から取りました。明治39年12月に山口はわが社を創業し、その後、日本精工、日本酸素を作りました

「山武は涼しくしてもっと省エネできるような技術を開発しよう、と努力しています」

「企業倫理ではどのようなことをしていますか？」

トッ プが語る

心としたオートメーションで、人々の「安心・快適・達成感」を実現するとともに、地球環境に貢献します、といった山武の二世紀目に向けたメッセージを込めていきます。例えば、私どもは、ビルや工場の空調と

「幸い、これまで経営倫理で大きな問題に直面した

「50項目のガイドラインをつくり具体的に定めてあります」

「経営倫理の問題で、今まで困ったことなどありませんか？」

「一方、現場レベルでは、工場などの現場作業の安全確保のために、ヒヤリとしたりハッとした体験を集めて文書化して共有し、事故の未然防止に努めています。こうした、トップレベルでのリスク予防、現場レベルでのリスク予防の融合が大切だと思います」

「BERCに対する要望はありますか。」

「自分の業界で経営倫理について何をしているかは分かるのですが、ほかの業界でどんなことをしているかについて勉強させていたいただきたいです。広く業界の情報提供などをお願いいたします」

「BERCに対する要望はありますか。」

「自分の業界で経営倫理について何をしているかは分かるのですが、ほかの業界でどんなことをしているかについて勉強させていたいただきたいです。広く業界の情報提供などをお願いいたします」

「BERCに対する要望はありますか。」

「自分の業界で経営倫理について何をしているかは分かるのですが、ほかの業界でどんなことをしているかについて勉強させていたいただきたいです。広く業界の情報提供などをお願いいたします」



研究会は、ニーズ対応とし、希望の多い順に6ヵ月ごとに開催し、順次繰り上げて実施する。半年2テーマ、年間4テーマの実施を目標とする。

研究会は、ニーズ対応とし、希望の多い順に6ヵ月ごとに開催し、順次繰り上げて実施する。半年2テーマ、年間4テーマの実施を目標とする。

研究会は、ニーズ対応とし、希望の多い順に6ヵ月ごとに開催し、順次繰り上げて実施する。半年2テーマ、年間4テーマの実施を目標とする。

研究会は、ニーズ対応とし、希望の多い順に6ヵ月ごとに開催し、順次繰り上げて実施する。半年2テーマ、年間4テーマの実施を目標とする。

21号の紙面



- 2面 「東証・信頼回復かけ新システム」
3面 「インタビュー 経営倫理 社長の取組み⑦イオン・大井由紀夫さん」
4面 「アングル エーザイ・日本初のくすり博物館(写真上)」
5面 「生保の不払い267億円、背景に契約者軽視も」
6面 「回顧随想・組織の論理と倫理」特別寄稿・日系人収容所跡に立つて思う」

BERCニュースは国内唯一の経営倫理・CSR専門紙

BERC新入会員社の紹介

- ①万有製薬②443・29億円③平手晴彦④高橋豪(取締役執行役員法務統括室長)⑤約4000名
①西日本旅客鉄道②1000億円③山崎正夫④検計中⑤30350名
①NECソフト②86.68億円③池原憲二④安藤幸彦(執行役員CSR推進部関係担当)⑤4673名(単体)
①住宅金融支援機構②2237億円③島田精一④松田広光(理事長代理)⑤13778名
①1060名
①ブリヂストン②1260億円③荒川昭四④岡嶋達也(専務執行役員)⑤13778名
4月末現在 計102社

「丸の内さえずり館」広がる輪 障害者らに野鳥の便り

三菱地所

「丸の内さえずり館」は「丸の内」をテーマに運営している「Nature Info Plaza」の副館長で三菱地所株式会社CSR推進部主事の寺坂琴美さんは話す。



「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

「丸の内さえずり館」はバード・カービング(左下写真)の展示や、テーブル季刊誌の発行などを通して視覚障害者らとの交流の場になっている。

東京証券取引所は3月27日発表した中期経営計画に、総額464億円に上る情報技術(IT)投資を盛り込んだ。目玉は2009年の稼働開始を目指す次世代システムの構築だ。過去、改修時の不手際から半日にわたり取引が全面停止するなどシステム絡みのトラブルが多発し、市場の信頼低下を危ぶむ声も聞かれた。国際的な取引所間競争が厳しさを増す中、新システムには市場のインフラ提供者としての信頼回復がかかっている。

東証「世界最先端」目指す トラブル多発で

信頼回復かけ新システム

取引が停止したのは2005年11月。早朝のシステム起動に何度も失敗し、ついに定時の取引開始を断念した。原因は売買の処理件数を増やすため、10月に実施した改修時のささいなミス。復旧したのは午後1時半だった。この間、株式と転換社債の全銘柄が取引できず、証券会社には投資家からの問い合わせが殺到して大混乱に陥った。

翌12月、みずほ証券が新規上場株の注文を出す際に株数と値段を誤って入力する誤発注が発生。間違い

に気付いて正しい操作をしても取り消せないプログラムミスが後日判明し、東証の鶴島琢夫社長は辞任。両社の争いは法廷に持ち込まれた。

東証は「世界最先端のシステム」(西室泰三社長)を目指して計画づくりに着手。NTTデータのグループ企業社長だった鈴木義伯氏を最高情報責任者(CIO)として常務に迎える

東証は「世界最先端のシステム」(西室泰三社長)を目指して計画づくりに着手。NTTデータのグループ企業社長だった鈴木義伯氏を最高情報責任者(CIO)として常務に迎える

東証は「世界最先端のシステム」(西室泰三社長)を目指して計画づくりに着手。NTTデータのグループ企業社長だった鈴木義伯氏を最高情報責任者(CIO)として常務に迎える

東証は「世界最先端のシステム」(西室泰三社長)を目指して計画づくりに着手。NTTデータのグループ企業社長だった鈴木義伯氏を最高情報責任者(CIO)として常務に迎える

東証は「世界最先端のシステム」(西室泰三社長)を目指して計画づくりに着手。NTTデータのグループ企業社長だった鈴木義伯氏を最高情報責任者(CIO)として常務に迎える

東証は「世界最先端のシステム」(西室泰三社長)を目指して計画づくりに着手。NTTデータのグループ企業社長だった鈴木義伯氏を最高情報責任者(CIO)として常務に迎える

社会貢献活動の現場から

21

「就業者数約24万人、事業所数4,000以上の丸の内。かつてはビジネスに特化した街でした。三菱地所では98年より、ビルの建て替えとともに商業機能の充実、環境共生の推進、文化芸術機能の整備等の再開発に取り組み、24時間、365日賑わう街づくりを進めています。その中の取組みの一つが、自然との「共生」をテーマに運営している「丸の内さえずり館」です」と、副館長で三菱地所株式会社CSR推進部主事の寺坂琴美さんは話す。

環境保全、文化芸術支援、社会福祉」の4テーマ。同館では、社会福祉という切り口で、テーブル季刊誌「野鳥と自然のお便り」約1800本を視覚障害者や点字図書館、盲老人ホームなどに無料配布している。社員ボランティアが音訳からテープ一卷一卷のダビングをし、発送を昼休みに行っている。聴者からの点字による感想なども寄せられ、点字の読めるボランティアがスタッフに読んで聞かせることもある。

「丸の内さえずり館」は、1日平均約60人が来館。NGO・NPOの資料も閲覧できるようなっている。いろいろな組織、ボランティアが関わっているからこそ、多種多様な、魅力溢れるフリー・スペースになっている。ここからNGO・NPO等のおつきあいの場が広がっています」と、寺坂さんは話している。

「丸の内さえずり館」は、1日平均約60人が来館。NGO・NPOの資料も閲覧できるようなっている。いろいろな組織、ボランティアが関わっているからこそ、多種多様な、魅力溢れるフリー・スペースになっている。ここからNGO・NPO等のおつきあいの場が広がっています」と、寺坂さんは話している。



雷光ペン 品格、志が問われる経営者

「粗にして野だが卑ではない」とは三月に亡くなった城山三郎が元国鉄総裁の石田禮助の生涯を描いた小説のタイトルである。粗野だが、卑しいことは決してしないと自らい放つ石田の生き方に深く共感した作者の代表作の一つだが、最近の産業界を見ると石田とは正反対の「粗にして野、しかも大いに卑なる」経営者のオンパレードである。

電力各社による事故隠しやデータの改竄(さん)、生保、損保の保険金の不払いなど「卑なる」行為はまさに目を覆うばかりだ。卑とは何か。それは品格なき経営、志を失った経営のことである。悪しき拝金主義が蔓延し経営からいつしか品格、志が消えてしまった。資本主義の父といわれた渋沢栄一は経営の要諦を「片手は経営の要諦を、片手は経営の要諦を」と忘れた暴挙である。(小山 博之)

電力各社、体質改善へ

東電データ隠しは「改革以前」

視点

06年10月末に中国電力の土用ダム(岡山県)のデータ改ざんが明らかになってから、全国の12電力の水力、火力、原子力の発電所で不正の報告が約1万回もあつた。全国の電力会社が集まつている電気事業連合会(電事連)の発表によると、水力で約9千回、火力で約1200回、原子力で450回という。この中で一番関心のあつたのは原子力である。環境問題の対応策として原子力発電が重要であることは間違いない。環境破壊が深刻化しているお隣の中国でも原発の建設に力を入れていくという時代である。日本でも06年の原子力白書で環境問題を解決するために原発に力を入れていくと提言している。

そうした時に東電の福島第一、第二の原子力発電所や柏崎刈羽原子力発電所、北陸電力の志賀原子力発電所で制御棒が脱落するという事故が隠されていた。こうした臨界事故は国に報告されなければいけないのに、両社は隠していた。こうした不正の報告はいずれも2000年以前のものである。それが今何故問題になってきたか。中国電力の不正が明らかになったのは、社内の派閥争いから内部告発があつたためとみられている。会長、社長の対立から両者が辞めたことで、社内の不正が明らかになったようだ。一方、経済産業省が全国の電力会社に對して調査するように命じたことから次々と出てきた。電力会社は沖繩を含めて全国に10電力あり、このほかに日本原電、電源開発の

12発電所がある。各社とも地域では鉄道のJRとともに経済団体のトップに立っている。そのために横並びの体質があり、同じようなことをしてきた。その中心が電事連であり、そのトップは現在、東電の勝俣恒久社長だ。

「食と環境」の意識向上を

自給率低く、危機招く恐れも

日本の食料自給率が、先進各国と比べて依然低い水準にとどまっている。農林水産省の調べで、あらためて心細い実態が浮き彫りになっている。食堂やコンビニ店などで、消費されないまま廃棄処分される無駄

た。一昨年の秋に開かれたBERC主催のシンポジウムにもパネリストで参加して、いかに社内の改革をしたかを報告した。その中で印象深かったのは「(不正を)しない風土」「させない仕組み」を作ったということである。今回明らかになったケースはいずれもこの事件の前のものである。そうしたことは田村会長が中

心となった改革は間違いではなかった。06年11月にBERCの経営倫理努力賞で最優秀努力賞を受賞したことに傷をつけることではなかった、といえる。

東電では当時の状況を、すでに退職した職員に聞きまわって経済産業省に報告した。各社ともこうした努力が1万回という数字になった。経産省はこの結果に

「食料ロス」も相変わらず目立つ。「食と環境の大切さ」に対する意識の向上が欠かせない。

日本の自給率は1998年度から8年連続ほぼ40%で、横ばい状態が続いている。一方で、飲食店や家庭

インタビュー

経営倫理 我社の取組み ⑦



大井 由紀夫さん
人事本部 人事部長 企業倫理チーム
マネージャー

小売業を取り巻く環境が大きく変化してきている中で、ショッピングセンターで、2001年8月には「すべ(S.C)時代の到来を予感

行動規範推進リーダーを育成

マネージャーとして、行動規範をグループ全体に浸透させるかに全力投球していった。

まず始めたのは行動規範士の養成だ。それぞれの現場で浸透を図ろうと、最初の3年間で延べ5000人を養成した。さらに現場で

ではしっかりとしたカリキュラムをつくり、ケースメソッドをもとにディスカッション形式で学んでいくやり方を採りました」と大井さんは話す。また研修の際、ネット上の「ケーススタディ」と「映像」を引き出して使

より深く浸透、機能させていくため、昨年から新たに行動規範推進リーダーの育成に取り組むようになった。「若手社員に1年に1回は行動規範の研修を受けてもらいたい、そのための推進リーダーです。1年間で延べ2000人を養成。研修

その結果、昨年1年間で延べ17万人が研修を受けた。ここ数年「グローバル企業を目指すイオンは海外でのSC展開を拡大、4月には北京イオンも設立された。

まず中国語、英語版を作成、昨年はタイ語、マレー語の行動規範も導入しました。04年にスタートした「イオン行動規範110番」もグループ企業全体に拡大され、07年には44社、30万人を対象にすることを

「行動規範もそれぞれの国の言語に翻訳されています。大井さんは話す。(根)

手作り感覚の「イオン行動通信」も月1回欠かさず発行、アルバイトも含め従業員全員に手渡されている。最近、全国の城を見て歩くようになった。「特に松山城が好きになりました。歴史の重みと、しっかりと土台の上に築かれたものは今の時代でも感動を与えてくれる。これは企業倫理の浸透とダブルがある」と大井さんは話す。(根)

企業不祥事から会社を守るスペシャリスト

経営倫理士

「第11期生・資格認定講座」いよいよスタート
本年10月開講～来年7月終了(毎月1～2回受講)

主催 経営倫理実践普及協議会
〒107-0062 東京都港区南青山2-3-8 九六ビル6F
TEL/FAX: 03-5411-6177
E-mail: keieirinrikyo@cz.blush.jp

明治中期の薬屋の店先が復元されている。当時の各種の薬看板なども展示され、興味深い。



消費者との接点で ⑦

アングル

日本初の「くすり博物館」 貴重な資料6万5千点も

企業と消費者を結びつける施設の中に企業博物館がある。鉄の博物館、電力PR館、電気博物館など。エーザイの「くすり博物館」(岐阜県各務原市)は、1971年6月に開設された日本初の本格的な薬学、薬業の博物館だ。新薬開発の激化する現代社会で、今ほど「くすり」に対する関心が高まった時代はないといわれる。この「くすり博物館」は、同社創業者・内藤豊次氏が創立。同施設の特徴は、①博物館、図書館、薬草園の三つが集合形成されている②一企業を超えた幅広い情報提供。6万5千点もの収蔵資料その内約2千点を

一般公開(入館無料)③各種イベント、PR活動などを通じ地域社会に根付いている。また、オランダ渡りの薬びん、江戸時代の印籠(いんろう)、薬研(やげん)製薬道具、往診用薬箱等の資料も多数ある。一方、「体験コーナー」もあり、自分の脳年齢を測定できる。このコーナーでは、高齢者だけでなく、測定器に向かう若い人の姿がよく見られる。同館の特色の中には、体験方式の各種イベントがある。児童向けの催事で、夏休み親子教室が人気だ。このほか植物画講座、薬草栽培教室などの講座

BERCC入会の御案内

経営倫理実践研究センター(BERCC)では賛助会員の入会申し込みを受け付けています。

BERCCは、我が国初の経営倫理の実践研究専門機関です。企業不祥事、不正の防止や企業の社会的責任を果たすため、理念普及、教育研修のノウハウ提供、実践活動研究グループへの参加、会員社間の交流と情報交換など幅広い活動を進めています。

▽年会費50万円
▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。
申し込み・問い合わせは経営倫理実践研究センター事務局へ。

電話 03(5413)5897
FAX 03(5413)5898

迷走した関経連人事

列島インフォメーション

問われる財界活動の中身

インタビュー

関西財界の総本山、関西経済連合会の主脳人事がようやく内定した。五月下旬に退任する秋山喜久会長(関西電力相談役)に

代わり、下妻博氏(住友金属工業会長)が新会長に就任する。新体制の船出にムードは薄い。旧来型の財界活動に企業が距離を置くようになったことが、その背景にあるようだ。

秋山氏が後継人事を公表したの場では、関経連の副会長は

秋。記者会見での質問に答える形ではあるが、関経連副会長の一人、井上礼之氏(ダイキン工業会長)の名前をあげ、意中の人物であると明言したのだ。

井上氏が後継の最有力だとの見方は、それ以前から関係者の間に広く根付いていた。関経連の副会長は

現在、11人。東京に常駐している副会長も少なくないが、井上氏は基本的に大阪で活動し、地域貢献の活動にも熱心だ。秋山会長を様々な形で支えてきた実績から考えても、井上氏へのバトンタッチが正式に決まるのは時間の問題だと見られていた。

ところが本命とみられていた井上氏と秋山氏が対立、「後継指名」を拒否したことから、混乱が始まった。秋山氏やその周辺は、井上氏の説得を試みたが、井上氏は「ダイキンは空調事業でグローバル・ナンバーワン企業を目指してお

や薬草園フェスタなど季節に合わせたイベントが企画、催行されている。

さらに、図書館には、医学・薬学書を中心に、6万2千点の図書が収蔵されている。江戸時代の和装本など貴重な資料もあり、同館近くに泊まり込み、数日ばかりで資料を読む研究者もいる。一般ユーザーへの幅広い情報提供と、同時に専門性ある資料収集で評価が高まっている。

篠田愛信館長は「当館利用者は、昨年4万5千人。発足以来、116万人の人々に利用してもらった。平日は団体の来館が多く、全体に高齢者や学生が目立つ。館内展示物を単に見るだけでなく、薬研やハカリ作りなど、実際に手に触れて体験することが喜ばれる。鑑賞、見学ということに終わらず、クスの世界という展示対象とのコミュニケーションを大切にしたい」と話している。

BERCC・CSR関西部会

吉川氏がグンゼが事例発表

BERCCの第6回CSR関西部会が3月14日、大阪府商工会館で開かれた。

まず(社)企業研究会監事、経営倫理実践研究センター監事の島村昌孝氏が「企業の信義誠実性をどう

初「グループ企業」研究会
今年度スタート

今年度からスタートしたBERCC「グループ企業に対する経営倫理の取組み」の第一回目の研究会が、4月13日に南青山会館で開かれた。

担当講師は、元松下電器産業株式会社法務本部

が、財界活動はやり方次第でCSRと重なる部分も多

が、儀礼的な活動に時間をとられるばかりで、社会への影響力が乏しい」と拒絶反応を示す経営者も珍しくない。

CSR活動の強化は企業にとって共通の課題だ

が、財界活動はやり方次第でCSRと重なる部分も多

が、儀礼的な活動に時間をとられるばかりで、社会への影響力が乏しい」と拒絶反応を示す経営者も珍しくない。

CSR活動の強化は企業にとって共通の課題だ

が、財界活動はやり方次第でCSRと重なる部分も多

が、儀礼的な活動に時間をとられるばかりで、社会への影響力が乏しい」と拒絶反応を示す経営者も珍しくない。

CSR活動の強化は企業にとって共通の課題だ

「生保」不払い267億円

背景に「契約者軽視」 各社請求促す態勢に転換

損害保険に続き生命保険業界でも、保険金の不払いが発生していることが判明した。主要12社だけで、2001年度からの5年間で約23万件、約267億円に上る。背景には、損保同様「契約者軽視」の業界慣行があり、金融庁の指示を受けて各社は、請求を促す態勢に転換した。

生保各社が保険金の不払い調査の結果を発表したのは、奇しくも損保各社が業務改善計画を金融庁に提出したのと同じ4月13日。金融関係の記者クラブのある日銀本店では、主要生保・損保の社長らが相次いで記者会見し、頭を下

「経営倫理士」資格取得講座(第10期)は、3月に6、7回目、4月には8、9回目と計4回開かれた。今回は、特に経営倫理・CSRへ実践的取り組み、実績を上げていく富士ゼロックスなど先進企業の事例

経営倫理実践普及協議会 ニュース

ワースト3位には、第一生命と住友生命が約14万2000件で並ぶ。主要

12社の合計では約119万件に上り、9月末にまとめる最終報告では、不払いが100万件を超すことも考えられる。

生保、損保の不払いの背景に共通していることは、新商品開発や新規契約の獲得に熱心な半面、保険金支払いをおろそかにする「契約者軽視」の業界慣行。請求のあった保険金のみの支払いを審査しているうち、死亡保障などに

最近の生命保険は商品が複雑になり過ぎ、契約者が細かな条件をすべて把握するのは難しい。金融庁もその点を重視し、「契約者に責任を負わせる」請求主義」からの脱皮を業界に要請。生保各社は調査の終了を待たず、不払い防止のため、支払い管理部門の人員増強やコンピューター投資の拡大に乗り出した。

例えば、日生は支払い管理のシステム投資計画を、1000億円から1500億円に拡充。第一は、営業

業職員が契約者から支払いを求められた場合、未請求の特約などがないかを即座に質問するようにした。住生は診断書をデータベース化し、支払い対象の契約をコンピューターで検索するシステムを10月から稼働させる。

とはいえ、契約数を伸ばすことを至上主義にしてきた生保各社が、営業環境が厳しさを増す中でどの程度、態勢転換が図れるのか疑問も残る。(松)

発表があった。それぞれの企業の担当者から具体的な説明があった。第7回目では発表の後、ミニ・シンポジウムの討議写真IIが行われた。実務的な事例が多く、受講生から活発な質問が続いた。

資生堂前CSR部部長の桑山氏は、「CSRの実践の課題を探るグループ」がテーマ。単なるリスク予防ではない企業倫理の確立、CSRの実践を皮切りとして、資生堂の事例を紹介した。

さらに、TIIのオープン・(誠実、Innovation(革新)、Commitment(コミットメント)をあげ、TIEシックスでは、「何が正しいことか」を知り、一人ひとりが自身自身で正しい判断をして迅速に行動する「自律した上での連帯」を大切にしている」と説明。

従業員が以前とは形が変わってきているが、ゼロにはなっていないこと、都合の悪い情報であっても、誠実に対応し、積極的に情報公開を行うことの必要性などを解説した。

松本講師(BERC主任研究員)のテーマは、「経営倫理、教育・研修」経営倫理の実践と人間。①経営倫理の実践教育は、難しいが可能であり、倫理推進担当の担う役割が大きい。②納得し行動につなげるには、価値観の共有化が必要で、価値観をぶつけあい、ジレンマを議論することは、意識の向上と好倫理体質の構築に効果的。③組織倫理を円滑に機能させるためには、組織・制度の運営面に心の理解が欠かせない。④経営倫理実践の効果はモニタリングするには、様々な手法があり、調査、監査、レベルの評価を組み合わせた、独自手法の開発が期待されるなどと解説した。

企業不祥事等の概要 (2007年3~4月の不正行為等)

平成電電	3月5日	多額の配当があるように偽って出資を募り約1億円をだまし取った疑いで警視庁は佐藤賢治元社長ら5人を逮捕
西武ライオンズ	3月9日	学生と社会人のアマチュア選手に学費などの名目で合わせて約1300万円を渡していたと西武ライオンズの太田秀和球団社長が発表。4月4日調査委員会の中間報告では、高校、大学、社会人野球の監督ら延べ170人に謝礼として最高1千万円の現金や商品券が渡っていたことが判明。
シャープ	3月15日	小型全自動洗濯機と二層式洗濯機での発火事故などを設計ミスと認め計52万1604台を対象に無料点検、修理(リコール)すると発表。
堀江貴文ライブドア前社長	3月16日	証券取引法違反の罪に問われていた堀江貴文被告に対し粉飾決済を指示したとして東京地裁が懲役2年6カ月の実刑判決。弁護側は即日控訴した。
三井住友海上	3月18日	燃えにくい軽量コンクリートを使った住宅で保険料の計算を誤り、火災保険料を少なくとも8855件(約8億4千万)分取りすぎていたと発表。
大林組など	3月20日	名古屋地検特捜部は、名古屋市の地下鉄工事をめぐるとの談合事件で大手ゼネコン5社と独占禁止法違反容疑で逮捕された業務担当者5人を同罪で起訴。
スケート連盟	3月27日	役員の旅費をイベント会社に不正に水増し請求させバックさせるなど、損害を与えたとして久永勝一郎元会長らに有罪判決。
関西テレビ	3月27日	「発掘!あるある大辞典II」のデータ捏造問題に関して、日本民間放送連盟が緊急対策委員会を開き関西テレビを除名処分にすることを決定。
ソニーファイナンスインターナショナルなど	3月30日	従業員が社内の端末から信用情報機関にアクセスし、第三者に債務残高などの顧客データを流していたとして、経済産業省が個人情報保護法に基づき是正勧告。
電力12社	3月30日	発電所でのデータ改ざん、トラブル隠しの調査報告書が経済産業省原子力安全・保安院に提出され、不適切事例4518件のうち原発関連が97件にのぼった。
生保12社	4月13日	金融庁に報告した調査結果で、保険金、一時金のなどの不払いが通院、3大疾病特約を中心に5年間で23万件、267億円にのぼると発表。
TOTO	4月16日	温水洗浄便座「ウォシュレット」で温水の温度を調節する制御装置から発火、発煙するなどの事故が29件発生し、約18万台を無料で点検・修理すると発表。
日本オース・エレベータ	4月26日	六本木ヒルズ・森タワーのエレベーター火災に関し、鉄線の破断を見逃すなど保守管理に問題があったとして、全国の5万6000基を緊急点検するよう求めたと国土交通省が発表。

(表は主要5紙を参照)

早稲田大学教授、日本経営学会理事長・小林俊治氏の講演のテーマは、「CSRの今後」。小林教授によれば、80年代は、外資系ではない日本企業で企業倫理担当役員をおいている企業はなかったが、90年代に、企業の倫理的制度化が急速に進んだという。その意味で、「失われた10年」ではなく、「豊穡の10年」だと述べた。さらに、「利益が許す範囲内での企業倫理の追求」から「企業倫理が許す範囲での利益の追求」へとパラダイム・シフトしていると述べた。

「経営倫理士」講座 先進企業の取り組み 担当者らが事例発表

◆第6回、3月12日
(講師)小林俊治、桑山三恵子



◆第7回、3月27日
(講師)村松邦子、久保田潤一郎

◆第8回、4月3日
(講師)永井伸幸、水谷雅一

◆第9回、4月18日
(講師)松本邦明

前々号と前号にわたって組織文化とリーダーシップの問題からさらに企業組織のあり方についても述べたが、顧ると筆者が経営倫理学とその実践について

回顧随想 <21> ライフ・ワーク としての経営倫理

BERC会長 水谷雅一

(人的資源) 管理と組織管理についての研究や実践を重ねてきたことが想い出される。企業における人と組織の問題は、組織管理における「要」の一つであって、多くの企業ではトップや幹部の重要な関心

事である。むかしは組織と人事を全く別の職制で管理するのが一般的であったし、したがって労務管理論と組織管理論は全く別個のジャンルとして考究されていた。その時代の組織管理の内容は主として職制(管理機構) 職掌、職務権限(責任) 権限委譲など、組織機構と責任権限の問題が中心であったから、組織上

組織の論理と倫理

配置される人間の問題はその枠外であって、たとえば人事の適正配置は組織管理の範疇外であり、人事管理の領域とされていた。しかしこれでは企業を取巻く環境条件の著しい変化に適応しかねることから、旧来からの静態的組織論から動態的組織論へと変換されるように、昭和三〇年代から四〇年代にかけて、組織と

人生の午後 を楽しむ

佐江 衆一

もう24年前になる。横浜の女が灰をかぶって寝ていみ返すと相手は退散した。中学生たちが老ホームレるのだ。シャブや賭博専門逃げると袋叩きにあう弱肉を殺害した。私はその真の組のこわいオニサン方強食の世界なのだ。武道で相を知ろうと横浜のドヤ街が。一晩中喧嘩が絶え養う「不動心」が大切なものに一ヶ月余滞滞して「横浜ず、朝「マグロ」上がったのである。ストリートライフ」を書いて

不動心と詫びる心

「いや、悪かった」と私は頭を下げて詫びた。しかし、帰宅してから腹の虫がおさまらない。修行が足りたからだ。45歳から始めた。古武道の杖術は三段、ほかを肩に、ほろ酔い気分自分で、自信があった。真夜中だった。路上に大きな外車「クワ」に「惻隱の情」である。

文化の ページ

この春休みに、第2次大戦中に米政府が日系人を収容した、マンザナル収容所跡地を家内と訪れた。



シネマ談話室

笹野高史と聞いて、すぐには顔が思い浮かばない人も、この写真を見れば「ああ、映画でよく見る脇役!」とひざをたたくだろう。

「男はつらいよ」「釣りバカ日誌」などの常連として知られる名脇役。一シーンに登場するだけで、いつも強い印象を残してきた。故・渥美清は笹野を「いつ

もおいしいところをいただいて、スツといなくなる一シーン役者。いいねえ」とたたえたそう。

「1シーン役者」の魅力

映画祭やシネマ旬報、日本アカデミー賞の選考で見事、助演男優賞を手にした。

ヨコハマ映画祭の授賞式では「地球は異常気象、こちらは狂い咲き」「映画では出番が少ないから、衣装合わせはすぐ終わっちゃい



アメリカ寸描 日系人収容所跡 に立って思う...

アメリカ西部のマンザナル日系人収容所跡を訪れ慰霊碑の前に立つ小林俊治氏

のサーブス・エリアの店員がこの先は店などなく、自分も行ったことがないという砂漠を走るののである。ロサンゼルス近くのベアカズビル空港から砂漠

早稲田大学教授 小林俊治

編集後記

◇BERCの新年度事業がスタート。会員1000社体制を踏まえ、研究会、特別研究会も量的拡大だけでなく、質的レベルアップも期待されている。

◇最近の企業不祥事は、「発掘」あるある大辞典IIで、マスコミ倫理がクローズアップされた。そして春になって、プロ野球、学生野球が大揺れだ。裏金問題などスポーツ界の倫理のあり方が、いま注目されている。

「おとどろ」読んでら老けないコラム」は休みます。